

令和8年度第1回定時理事会議事要旨

- 1 開催日時 令和8年6月8日（月曜日） 午前10時30分から午前12時00分まで
- 2 場 所 公益財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階
- 3 理事の現在数 6名
- 4 出席理事の数及び氏名 5名 マリ クリスティーヌ
天津 利男
押味 亜希子
鳥田 浩平
矢崎 理恵
- 5 出席監事の数及び氏名 1名 有我 康子
- 6 議 長 マリ クリスティーヌ
- 7 議事録署名人 マリ クリスティーヌ
有我 康子
- 8 決議事項
第1号議案 令和7年度事業報告及び決算承認の件
第2号議案 理事・監事候補者の選任の件
第3号議案 令和8年度第1回定時評議員会招集の件
- 9 報告事項
理事長及び常務理事の職務執行状況について
- 10 議事
(1) 開会
冒頭、本会が定足数を満たし、理事会として有効に成立していること及び定款第4
2条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び監事が記名押印することの

報告があったのち議事に入った。

(2) 議案説明

ア 「第1号議案 令和7年度事業報告及び決算承認の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、以下の発言があった。

(質問)

- ・多文化共生中域ネットワークの「ブロック」の位置付けについて、既存の枠組みがあるのか。また、当該ネットワークの今後の展開について、どのように考えているのか。

(回答)

- ・当該ネットワークは、固定的なブロックが存在するものではなく、社会福祉協議会の区分等を参考にしつつ、自治体及び国際交流協会を中心に地域ごとに形成しているものである。現時点では、北多摩南部、城東、多摩の3ブロックが立ち上がっている。
- ・市民団体は当該ネットワークの構成員には含まれていないが、研修等への参加は可能であり、今後の取組については各地域のニーズを踏まえながら検討していく。

(質問)

- ・外国人相談件数が増加している要因について説明されたい。また、SNSのフォロワー数の状況について伺いたい。

(回答)

- ・相談件数の増加については、多言語相談のフリーダイヤル化を通年実施したことが主な要因である。SNSのフォロワー数については大きな増減は見られていない。

(質問)

- ・スーパーバイザー相談事業の利用件数が少ない要因及び今後の改善方策について説明されたい。

(回答)

- ・件数増加に向け広報を強化してきた結果、相談件数は増加したものの、引き続きアウトリーチ等により周知を図る。相談はオンライン・電話いずれも対応可能であり、主に支援者からの相談を受ける仕組みとなっている。事業の課題等については、検証を進めていく。

(質問)

- ・町会・自治会の加入率の現状及び地域差について説明されたい。また、支援事業の

成果や成功事例について伺いたい。

(回答)

- ・加入率は全体として低下傾向にあり、例として平成 26 年度約 73%から令和 3 年度約 62%へと低下している。地域差は大きくない。
- ・支援事業については、ICT 活用や情報発信支援等により改善の兆しは見られるが、長期的成果の把握については課題がある。今後、成功事例の収集・発信に努める。

イ 「第 2 号議案 理事・監事候補者の選任の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

ウ 「第 3 号議案 令和 8 年度第 1 回定時評議員会招集の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

(3) 決議

議長が、第 1 号議案から第 3 号議案まで一括で決議を求めた。この結果、異議はなく、全議案について出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

11 報告事項

- ・理事長及び常務理事の職務執行状況について

上記について、資料に基づき理事長と常務理事から報告を行った。理事長と常務理事による説明の終了後、特に意見はなかった。

12 その他

その後、議長から、その他の発言を求めたところ以下の発言があった。

(意見)

- ・町会・自治会について、単身高齢者の増加を踏まえ、福祉的視点を取り入れた活動の展開が、活性化の一つの方向性として重要であるとの意見があった。
- ・多文化共生施策の推進に当たり、必要とされる支援内容を的確に把握するため、アンケート等によりニーズを把握し、施策へ反映することが有効であるとの意見があった。

13 閉会

以上をもって議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和 8 年度第 1 回定時理事会を終了した。